

県民と生産者をつなぐ体験型セミナーと木育の実施

事業実施主体：福井県

○福井県で策定した「第4次ふくい食育・地産地消推進計画」(令和6年度～令和10年度)に基づき、県民が心身ともに健康で豊かな生活を送れるよう「全国高校生食育王選手権」の開催や「体験型セミナー」の実施等食育に関する取組を推進している。

○若い世代を中心に、森林の大切さや森林整備の重要性・県産材利用の意義を学び林業への理解を深める「木育」と、県民が生産者側と交流する機会を提供し、食の循環とのつながりを深める「食育」を実施した。

福井県



【取組の内容】

○県民と農林水産業をつなぐ体験型セミナーの開催

収穫体験等、県民が生産現場と交流する機会を継続的に提供することで、福井県の農林水産業や食の循環を担う多様な主体のつながりを深めた。

＜講和の様子＞



＜農作業体験の様子＞



(親芋から子芋を分ける作業)

＜試食の様子＞



○木育の実施

地域の林業従事者等の指導のもと、学生172名が林業や木材産業を体験し、森林の大切さや整備の重要性、県産材利用の意義を学んだ。

＜現場体験の様子＞



【取組の成果】

○農林漁業体験者数の目標を大きく達成し、農林業への理解を深める機会となり、またその活動を報道機関を通じて紹介し、広く県民にPRすることができた。

【事業の目標】

○産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合
事業実施前 69.8%(令和5年度)



事業実施後 85.8%(令和6年度)

○農林漁業体験者数の増加
事業実施前 114人(令和5年度)



事業実施後 172人(令和6年度)

